



E-mail:honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311

浮世絵師が描いた子どもの遊び「お手玉」(下)

広重の「風流おさな遊び」男の子版・女の子版

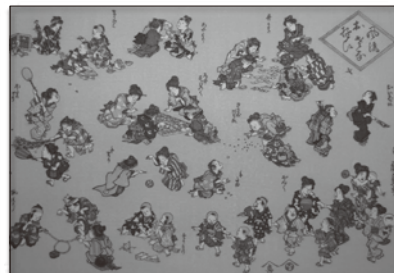
版画に残されていたお手玉遊びの絵



■お手玉遊びをしている女の子の姿



■男の子たちのいろいろな遊びの姿



■女の子たちのいろいろな遊びの姿

「東海道五十三次」を代表作とする風景画の第一人者である浮世絵師の歌川広重が、「風流おさな遊び」の「男の子版」と「女の子版」を描いています。

この絵が描かれた江戸天保期(1830年～1844年)の広重の作品には、いくつか子どもの絵があり、子ども好きの一面もあったようです。

また、このころの国勢は安定していて、江戸庶民の経済力も増していたころで、一般の浮世絵も隆盛を迎えていたといわれています。

この広重の「風流おさな遊び」の「男の子版」「女の子版」を、千代紙や錦絵の印刷・販売で知られる「いせ辰」(東京都台東区)が、平成14年3月に復刻版を完成させました。

復刻版の発行に当たって、いせ辰は、次のように言っています。

「当店にとりましても、現代にこのような情感あふれる作品をそろえて復活できますことを、たいへんうれしく思います。かつて、子どもたちは、遊びをたくさん持っていました。現代、子どもたちの遊びは変わってしまいました。

しかし、変化したもの、失ったものは子どもたちの遊びだけではないような気がします。この『おさな遊び』の中に、現代にない何かを感じ取っていただければ幸いです。」

さらに、次のようなコメントも添えられています。

「笑っている顔、真剣な顔、泣きだしそうな顔…、ここに描かれている一人ひとりの子どもたちの顔は、どれも豊かな表情を持っています。また、いまにも動き出しそうで、ユーモラスな様子を見ると、元気に遊ぶ子どもたちの大声が聞こえてくるようです。

太平の世の中、江戸時代の豊かな暮らしや、何事にも余裕のある生活までもが、背景に見えてくるようです。」

「風流おさな遊び」の「男の子版」には、たこ揚げ、竹馬、水鉄砲、こままわしなど15の遊びを、「女の子版」には、お手玉、あやとり、きしゃごはじき、てまり、おりものなど15の遊びが紹介されています。

「女の子版」の中段には、上にあげたお手玉を見ながら寄せ玉遊びをする『お手玉』の絵があります。

この「風流おさな遊び」の「男の子版」「女の子版」の浮世絵の現物は、日本のお手玉の会理事の中山順子さんからご提供いただきました。

